

## ▼フィラジル皮下注シリンジ [注]

【重要度】 【一般製剤名】 イカチバント酢酸塩 Icatibant Acetate 【分類】 遺伝性血管性浮腫 (HAE) 治療薬 [選択的ブラジキニン B2 受容体ブロッカー]

【単位】 ▼30mg/Syr [3mL]

【常用量】 1回 30mg を皮下注射・効果が不十分な場合・症状が再発した場合は6 時間以上の間隔を置いて1 回 30mg を追加投与 [最大 3 回/24hr]

小児には体重に応じて投与量設定

【用法】 腹部に皮下投与

【透析患者への投与方法】 常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (5)

【特徴】 ブラジキニン B2 受容体に対する選択的な競合的拮抗薬で、遺伝性血管性浮腫の急性発作に適用。寛解までの中央値 1.75hr で、5hr 以内に軽快 [phase3] (Hide M, et al: Allergol Int 2020 PMID: 31672405)

【主な副作用・毒性】 過敏症, 注射部位反応

【安全性に関する情報】

【F】 約 97% [sc] (1)

【tmax】 0.63hr [sc] (1)

【代謝】 ペプチド分解酵素によって不活性代謝物に代謝 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 10%未満 [iv] (1)

【CL/F】 220±31.5mL/min [sc] (1) 15.4L/hr (Wang Y, et al: J Clin Pharmacol 2021 PMID: 33091166)

【t1/2】 1.77±0.36hr (1) 1.5~2hr (Leach JK, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 2015 PMID: 27128215)

【蛋白結合率】 44% (1)

【Vd/F】 33.3±6.77L/man [sc] (1)

【MW】 1484.68

【透析性】

【薬物動態】 線形 (Leach JK, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 2015 PMID: 27128215)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20230316

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。